



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2026 年
10 月号
(第 40 号)

今月のことば

「心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛しなさい。」新約聖書マルコによる福音書 12 章 29-31 節 (綿引康司 選)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田ボランティア連絡協議会の登録団体です)

今月の強調テーマ:「ASF」(Alexander Support Fund(アレキサンダーサポート基金))

2026~2027 年度 主題

クラブ会長 綿引康司「10 周年、そして次の 10 年へ」
東新部部長 深尾香子(東京多摩スマイル)「顔を上げよう!」
東日本区理事 山下 真(十勝)「挑戦なくして進化なし」
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン(タイ)
「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
国際会長 ヨハン・V・エルトヴィク(ルウェー)「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせ」
《クラブ役員》会長 綿引康司 直前会長 伊藤幾夫
書記 伊藤幾夫 会計 綿引康司 担当主事 鳩山徹郎

10 月例会プログラム

日時: 10 月 6 日(火) 19:00~20:30
会場: ベルブ永山 講座室
(小田急・多摩線「永山駅」徒歩 5 分)
会費: なし (夕食はありません)
(オンライン Zoom での中継はありません)

《プログラム》

司会 尾張日出夫 受付 為我井輝忠

- *開会点鐘 綿引会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 綿引会長
- *ゲスト/ビジター紹介 綿引会長
- *会長挨拶
- *スピーチ 平 清太郎さん
「福島に行く。多摩に招く。共に奏でる♪ ~子どもたちの交流は未来を拓く~」
- *チーム報告
- *YMCA ニュース、各種アピール
- *スマイル
- *ハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 綿引会長

巻頭言「ブルーミュージックが躍る」

「ブルーミュージック」という言葉がにぎわっています。ボクもはじめて聞く言葉で、「?」という感じでした。国際会長ヨハンが主題で「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」。これに呼応して、アジア太平洋地域会長ラチャンも「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」と続けば、当然、東日本区山下理事も黙っている訳にはいきません。主題には、ブルーミュージックという言葉は盛り込みませんでしたが、「ブルーミュージック・アンバサダー」を任命し、東日本区でも、8 月 24 日にオンラインミーティングを開催しました。名付けて「ブルーミュージック・ワッツアップ・ミーティング」、ブルーミュージックって何? みんなで考えてみない? といったところでしょうか。さすが、ワイズメンはポジティブで、28 名も参加しました。ボクもその中のひとりです。まず、国際会長ヨハンの趣旨説明の動画を観ました。見終わっても「?」が残りましたが、ひとつだけインパクトのワードを見つけました。それは、「『加齢』を強みにする」という言葉です。そうか、私たちは、ワイズは高齢化し、会員数も減少していることをネガティブに捉えていたなー、とハッとしました。「加齢を強みにする」、年齢を重ねても、私たちには、信頼できる仲間がいて、豊かなワイズライフがあるではないか、「眠れる巨人」とは「100 年以上続くワイズの誇り」のことをヨハンに「目覚めさせ」られました。(伊藤幾夫記)



10 月の Happy Birthday

寺沢邦彦さん(2 日)、為我井輝忠さん(14 日)、
綿引康司さん(14 日)、峰 毅 さん(17 日)

9 月例会	在籍15名 (内広義会員5名) 合同例会出席21名 (内、Zoom 5名)	出席 内訳	メンバー 9名 メーキャップ 2名 出席率 91% メネット 0名 ゲスト・ビジター10名	BF切手 0g ぼんぼこファンド 0 円 (今年度の累計 1,300 円)	オークション 0 円 (今年度累計 0 円) スマイル 7,000 円 (今年度累計 26,130 円)
-------	--	----------	---	---	---

9 月合同例会報告

9月1日(火)当日は18:00から、東京町田コスモスクラブ(以下、コスモスクラブ)との9月合同例会が、玉川学園コミュニティセンター多目的室で開催されました。この日はコスモスクラブの意向で、17:30から、希望者のみ、一緒にお弁当を食べました。9月合同例会のホストは、順番でコスモスクラブが務めました。司会は当クラブの田中さん、受付はコスモスクラブの富樫さんが担当しました。山口コスモスクラブ会長の開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条と続けました。今月のことばは、両クラブがそれぞれ代読しました。両クラブの会長によるゲストビジターの紹介、そして、両会長の挨拶がありました。スピーチは、太田直宏日本YMCA同盟総主事でした。卓話は「我が希望の根拠～それはページェントから始まった」ということで、自分自身のキリスト教との出会い、ワイズとの出会いをスライドショーを使って、ユーモラスに語られました。「私自身の人生のスタートがカトリック幼稚園であったことを基軸に、キリスト教主義団体が元気であることが希望の根拠であり、そのためにもワイズとYMCAの連携がいかに大切であり、そのことが今の社会の希望の根拠たりえる」というお話は、私たちに元気を与えてくれました(写真=左から綿引会長、太田さん、山口会長)。



した(写真=左から綿引会長、太田さん、山口会長)。太田さんから、岡山の「きびだんご」を差し入れていただきました。

各種アピールのあと、YMCA報告として、小野さんから、熊本地震支援活動の様子をうかがうことができました。スマイルは14,000円。YMCAの歌を歌い、綿引会長の閉会点鐘で19:40に閉会しました。

<出席者>当クラブ:石田、伊藤、小野、田中、為我井*、鳩山、深尾、藤田、綿引 9名 東京町田コスモス:加藤、権藤、諏訪、富樫、山口 5名 ゲスト:大山剛夫、兼松豊*、月本昭男*、吉谷真治 4名 ビジター:太田直宏(岡山)、小原史奈子*(東京ワイドウェスト)、久保田貞視*(東京八王子) 3名 計21名(*印はZoom参加者5名)

メーキャップ:為我井、峰

(伊藤記)



合同例会集合写真

ユースボランティア・リーダーズフォーラム

に参加して

為我井輝忠

昨年に続いて2回目の参加ですが、今年は9月4日から6日までの2泊3日で、高尾の森わくわくビレッジで開催されました。今年のテーマは「BEYOND “US” — ‘私たち’の境界を越える—」というものでした。共生世界を考える、外なる共生と内なる共生の両面からプログラムが展開しました。10か所のYMCAから28名のユースの参加があり、ワイズの参加者は25名を超えていたのではないのでしょうか。講師として、金迅野さん(在日大韓基督教会 横須賀教会)、横山由利亜さん(日本YMCA同盟)、齋藤勇弥さん(群馬YMCA)、白聖壘さん(The Lit Zone Beside 共同代表)、カミシャン・ダニールさん(ウクライナ出身の学生)が登壇し、それぞれの立場から話されました。どのお話しも深い内容と示唆に富んでいて、大いに得るところがありました。ユースのみなさんはどうだったのでしょうか。今後の活動に生かしてほしいと切望します。



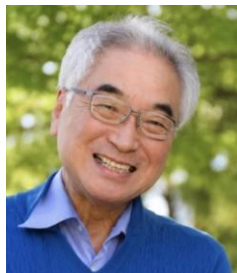
9 第2例会(運営会議)報告

9月6日(日)19:00から、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。会長挨拶のあと、9月例会報告、会計報告、ぼんぽこ農園報告、社協関連報告、10周年記念として東京YMCAへ贈呈する記念品、9月合同例会の振り返り、YVLFの参加、オンラインプランター野菜講座について話し合いました。多摩社協の10/18(日)福祉フェスタ、町田ボラセンの10/24(土)町田福祉バザーで野菜販売をすることも確認しました。東京YMCAへの記念品については、シチズン掛時計に決定しました。協議事項として、ブリテン10月号の割り付け、10月例会のプログラムを承認。スピーカーは、深尾さんの紹介で、聖蹟桜ヶ丘で地域活動をされている平清太郎さんに決まりました。11月例会は、11月4日(水)に、当クラブが当番で、東京町田コスモスクラブとの合同例会を玉川学園コミュニティセンターで開催します。スピーチは、当クラブの小野さん、「熊本地震支援活動」についてです。20:40に閉会となりました。《出席者》石田、伊藤、為我井、深尾、綿引 計5名 (伊藤記)

10 月例会スピーカー

平 清太郎 さん

福島に行く。多摩に招く。
共に奏でる♪
～子どもたちの交流は
未来を拓く～



《プロフィール》

1949 年、東京都日野市生まれ。16 歳のとき、児童福祉施設でボランティア活動を始め、人間の尊厳を守ることの大切さを学ぶ。中央大学経済学部卒業後、日野市青少年委員、日野市ボランティアセンター運営委員長、法務省人権擁護委員などを歴任。1995 年には「日野市子どもの人権を守る協議会」を設立し、後に会長を務めた。児童虐待の予防や子育て支援にも取り組み、関連書籍を執筆。長年の人権擁護活動により、2005 年に藍綬褒章を受章した。2011 年からは桜ヶ丘商店会連合会の東日本大震災復興支援担当理事として、東日本大震災の被災地で復興支援を続け、交流行事や復興フォーラムを毎年企画。現在は多摩市内の小中学校・高校で、道德の公開授業「命の大切さ」を担当している。

《スピーチ概要》

桜ヶ丘商店会連合会（5 商店会）は、東日本大震災以来、浪江町・双葉町と多摩市の児童生徒による「相互訪問（11 月）」と「音楽事業（27 年 1 月）」を継続開催し、被災地へのエールと、多摩市の子どもたちの“気付き”を支え続けています。主役は子どもたちですが、彼らの成長と共に周りの大人も大いに考えさせられる機会を与えられて来ました。今事業の発起人で、現在は担当理事として奔走する卓話者から、これまでのあゆみと現在進行中の企画にかける思いを伺い、15 年が経った復興支援事業のこれからについて、親しく語り合う時間になればと思います。

（深尾記）

「福祉フェスタ 2026」のご案内

2026 年 10 月 18 日（日）、多摩市社会福祉協議会主催の「福祉フェスタ 2026」が多摩市南野（最寄り駅は小田急多摩線唐木田駅）の二幸産業・NSP 健幸福祉プラザで開催されます。当クラブも参加し、ぼんぼこ農園の野菜販売を行う予定です。当日は 10 時スタートですので、ご参加頂ける方は 9 時に同館 7 階に集合をお願いします。

（綿引記）

ペナン国際大会参加報告

9 月 10 日（木）～13 日（日）にマレーシア・ペナン島のジョージタウンで開催されたワイズメンズクラブ国際協会（YMI）第 75 回国際大会に参加してきました。



元々は、アラブ首長国連邦のドバイで開催される予定でしたが、中東の情勢により、急遽開催地を変更しての大会でした。なお、ジョージタウンは、イギリス統治時代のコロニアル建築や多文化が共存する歴史ある街並みで知られ、旧市街（歴史地区）全体がユネスコ世界遺産に登録されています。

並行して開催された国際ユースコンボケーションの参加者（46 名）を含めて、29 か国から 541 名の参加がありました。日本からは東日本区 23 名、西日本区 48 名の合計 71 名で、韓国に次ぐ参加者数でした。



「YMI 夢の祭典」をキャッチフレーズとして、参加者全員によるゲーム大会、各国の歌やダンスの披露、民族衣装のファッションショー等、お祭り気分の楽しい大会でしたが、隣国のインドネシアの焼き畑/山火事の影響で大気汚染が酷かったのが、残念でした。私は、国際協会 TOF 委員会委員長として、TOF についての講演を行い、また、大会後に 4 日間に亘って開催された代表者立法協議会（国際議会）にも参加してきました。

（田中記）

第 10 期プランター野菜講座開講

9 月 29 日（火）、プランター野菜講座（第 10 期）が、約 1 年 4 か月振りに開講しました。参加者は 17 名で、今回初めて参加される方もいらっしゃいます。



11 月 24 日まで、5 回に亘って、隔週火曜日に開催され、ミニダイコン、ミニハクサイ、ミズナ、コカブ、イチゴ、エンドウ、タマネギ等の栽培に取り組みます。

（田中記）

ぽんぽこ農園便り

9月はほとんどの日が雨天となりました。まさに異常気象です。9/30(水)の朝早く、ぽんぽこ農園を視察してきました。農園内の3本の栗の木が目飛び込んできました。ぽんぽこ農園の手前があるので落ち栗を20個近く収穫することができました。畑は雨に濡れた状態でしたが、佐々木さんの献身的なメンテナンスのお陰で、見事に整備が行き届いていました。ピーマン、茄子は、最盛期は過ぎていましたが、来月の地域のイベントに合わせる形で、メインの里芋はしっかり根付いていました。じゃがいもの収穫も期待できそうです。来週からは雨から解放されそうで、秋晴れが続くと思われます。里芋、ジャガイモの収穫が待ち遠しくなります。みなさんの都合がつけば、佐々木さんと事前に日程調整しながら「芋掘り」を体験したいと思います。ふるってご参加ください。楽しい思い出作りになると思います。

(石田記)



「第40回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン2026」参加報告

2026年9月26日(土)に、恒例のインターナショナル・チャリティーランが江東区の本場公園にて開催されました。当日は秋の長雨が続き、朝は中止になることが危惧されましたが、幸いにもレースが行われた昼頃には雨も止み、無事実施されました。今年は昨年より5チーム多い48チームがエントリーし、大変盛り上がり、楽しい1日となりました。当クラブ



は東京ワイドウエスト、東京サンライズの両クラブと一緒に山手センターチームのスポンサーとなりました。また今年も在京のすべてのワイズメンズクラブが何れかのチームスポンサーとなり、YMCAを支えることが出来ましたことも併せてご報告します。

(綿引記)

今後の予定

10/8(木)19:00~20:30 Y友広場 オンライン
10/12(月、休)YYウォーク 10:30 門前仲町駅
19:00~20:30 10月第2例会オンライン
10/13(火)19:00~20:30 プランター野菜講座②
10/15(木)19:00~東新部会長会 オンライン
10/17(土)~18(日)ブルーミュージックキャンプ
東京YMCA 山中湖センター
10/18(日)10:00~多摩フェスタ (別掲)
10/24(土)10:00~町田福祉バザー ぽんぽこ町田

YMCA ニュース

担当主事 嶋山徹郎

★熊本地震復興支援活動報告

熊本で7月28日に大規模な地震が発生し、緊急支援募金を全国YMCAで一斉に開始しました。東京YMCAではウェブサイトやメールマガジンで募金協力を呼びかけている他、8月に5回の街頭募金を実施しました。熊本地震の復興支援活動を検討するため、8月4日から日本YMCA同盟と東京YMCAの職員(村上祐介会員部・賛助会・募金・FD室・ウェルネス事業部統括)が熊本市内を中心に被災地の視察を行いました。また熊本YMCAは八代市より委託を受け、八代市の2つの避難所の運営を8月17日から開始しました。これに協力し、全国YMCAのスタッフが交替で避難所の運営サポートを行っています。東京YMCAからも、8月末までに7人を、その後も12月末頃まで継続して交替でスタッフを派遣する予定です。10月2日には、これまでの支援活動と被災地の現状をお伝えする「熊本地震 被災地支援活動報告会」をオンラインで開催しました。現地に派遣されたスタッフ、ユースボランティアリーダーが、避難所での支援活動や八代市の小中学生を対象に実施したリフレッシュキャンプ等について報告しました。

★東京YMCA 高等学院が小田原短期大学等と協働で実施している「都市部におけるホテル観賞会(屋内自然体験プログラム)」が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催「キッズデザイン賞」を2年連続で受賞しました。都市部の子どもたちに本物のホテルの光や生命の営みに触れる機会を提供し、環境教育や世代間交流に寄与する「都市部における自然体験の新たな教育モデル」としての継続的な実践と、大学と社会教育団体の協働による質の高い体験活動の創出が高く評価されました。

★今後の主な予定

- ・オンラインウォーキング大会:11月下旬~12月上旬(全国YMCA共通)
- ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜YMCA共催)10月24日(横浜外国人墓地)
- ・「第28回愛恵エッセイ」11月13日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)

テーマ:「豊かな福祉社会を創るために、私たちが今、できること」

- ・「第24回日本YMCA大会」11月27日~29日(日本YMCA同盟東山荘)
テーマ:「Evolving Together」
- ・「賛助会年会・アドバイザー会」11月16日(アルカディア市ヶ谷)

- ✓ 10/27(火)19:00~20:30 プランター野菜講座③
- 10/28(水)19:00~20:30 在京10クラブの会

編集後記雨の日が続いています。地震、豪雨などで被災された方々にお見舞い申し上げます。(i.i)